

新潟産業大学附属高等学校 部活動の方針

1. 適切な運営のための体制整備

- (1) 参加する各種大会や地域行事等の精選をした上で、年間等の活動計画を適宜作成する。
- (2) 不測の事態が発生した場合に適切な対応ができるよう、各部活動に複数の顧問を置く。
- (3) 実態に応じて、教育活動である事の理解を十分に得た上で部活動指導員等を配置する。

2. 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進

- (1) 医・科学的な見地及び各部活動の特性を踏まえたトレーニング等を積極的に導入する。
- (2) 生徒の意見を把握し、生徒の主体性を尊重しつつ、適切な指導を実施する必要がある。
- (3) 結果のみを重視すること無く、健全な心身を培うためのバランスのとれた運営を行う。

3. 適切な活動時間・休養日の設定

- (1) 生徒の実態に応じて適切に活動時間を設定し、短時間で効果が得られるよう工夫する。
- (2) 生徒の実態に応じて適切に休養日を設定し、学校生活等に支障が出ないよう配慮する。
- (3) 長期休業中には、生徒の実態に応じて、ある程度長期の休養期間を設けるよう努める。

令和6年度 新潟産業大学附属高等学校 部活動に係る活動方針

1. 目標

- (1) 部活動は学校教育の一環として実施するものであり、生徒の心を磨くことを目的とする。
- (2) 余暇の善利用を図り、心身を鍛え充実した生活を築こうとする自主的な態度を育てる。
- (3) 「県内トップクラス」の部活動実績の維持を目指して技術・競技力を向上させる面と、個性の伸長と生涯教育の一環として楽しみながら活動する面との両立を図る。
- (4) 新しい部（ドローン部・ダンス部）の定着と拡充を図る。

2. 本年度の部活動

- (1) 本年度設置する部活動について
サッカー・水泳・ソフトテニス・卓球（男女）・バスケットボール（男女）・野球・陸上競技・
バドミントン・家庭・吹奏楽・ボランティア・ラーナーズクラブ・ダンス・ドローン
- (2) 活動時間及び日数について
 - ① 活動時間 学期中 平日 2時間 週休日等 3時間程度
(練習試合や大会等を除く)
長期休業中 平日・週休日等 3時間程度
(練習試合や大会等を除く)
 - ② 休養日 週 1 日以上とする。
 - ③ その他
 - ・ 定期考査 1 週間前（土日含む）は部活動を行わない。
(大会等がある場合は校長に相談する。)
 - ・ 年末年始等の学校閉庁日は部活動を行わない。
(大会等がある場合は校長に相談する。)
- (3) 大会参加について
部活動として参加する大会は、以下の点に該当するものとする。
 - ① 高体連・高野連・高文連（主催、共催、後援）の大会とする。
 - ② その他の大会については、校長が許可した場合のみ参加を認める。
(ただし、生徒の健康面・学習面には十分配慮する)

3. 部活動運営について

- (1) 体罰等の禁止について
部活動顧問等の指導者は、いかなる理由があっても、部活動での指導で体罰等を正当化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識をもち、体罰等のない指導に徹する。
- (2) 保護者の理解と協力について
保護者の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができない大切なことであることから、顧問としての指導に関する基本方針・練習計画・練習内容・活動時間・休養日を明確にし、保護者に示す。
- (3) 生徒・保護者とのコミュニケーションについて
教員・指導員は、聞く⇒聴く⇒訊く(hear→listen→ask)を徹底し、生徒・保護者とのコミュニケーションを密にする。